

平成28年度病害虫発生予察注意報第9号

平成29年3月3日
愛知 県

作物名：タマネギ
病害虫名：タマネギべと病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 2月下旬の巡回調査(17ほ場)の結果、発病株率0.6%(平年0.06%、前年0.5%)、発生ほ場率17.6%(平年2.2%、前年16.7%)で、過去10年間と比較して発病株率、発生ほ場率とも最も高い。
- (2) 前年4月下旬の巡回調査での発病株率は、過去10年間と比較して最も高く、発生ほ場率もこの3年間、高い状況が続いている。そのため、多くのほ場で本病原菌の密度が高まっていると考えられる。

4 防除対策

- (1) 発病株は周辺株だけでなく、周辺ほ場への伝染源になるので、見つけ次第抜き取り、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- (2) 表を参考に予防的な防除に努める。また、発生を確認した場合は、治療効果のある薬剤で防除する。降雨後は速やかに薬剤防除を行う。
- (3) 薬剤の使用に当たっては、薬剤感受性の低下を避けるため、作用機構が同じ薬剤の連用を控え、異なるFRACコードの薬剤をローテーションして使用する。

表 タマネギべと病に対する主な防除薬剤

| 薬剤名 | 成分名 | FRACコード | 効果 |
|---------------|-------------------------|---------|----|
| ジマンダイセン水和剤 | マンゼブ | M3 | 予防 |
| ダコニール1000 | TPN | M5 | 予防 |
| ランマンフロアブル | シアゾファミド | 21 | 治療 |
| レーバスフロアブル | マンジプロパミド | 40 | 治療 |
| ザンプロDMフロアブル | アメトクトラジン・ジメトモルフ | 45・40 | 治療 |
| シグナムWDG | ピラクロストロビン・ボスカリド | 11・7 | 治療 |
| ジャストフィットフロアブル | フルオピコリド・ベンチアバリカルブイソプロピル | 43・40 | 治療 |
| フェスティバルC水和剤 | ジメトモルフ・銅 | 40・M1 | 治療 |
| プロポーズ顆粒水和剤 | ベンチアバリカルブイソプロピル・TPN | 40・M5 | 治療 |
| ベトファイター顆粒水和剤 | シモキサニル・ベンチアバリカルブイソプロピル | 27・40 | 治療 |
| リドミルゴールドMZ | マンゼブ・メタラキシル(M) | M3・4 | 治療 |

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、<http://www.jfrac.com/fracコード表/> を参照する。

薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471